

1/31(金)コアメンバー会議議事メモ

開催日時：2025 年 1 月 31 日（金）13:30-14:40

開催形式・場所：対面開催@ジェトロ本部 5 階 E 会議室

冒頭のご連絡

次年度より幹事に任期が導入され、幹事期間が長い岡崎さんが交代となってしまう、キヤノン豊田さんに来期幹事の担当可否について交渉中。コアメンバーの呼称が副幹事に変更、以下副幹事と記載。

ヨネックス大久保さんが副幹事を継続しない予定。SNS 詐欺広告 WG の立ち上げに伴い、WG リーダーのワコール野村さんが副幹事に就任予定。

（１）来期の幹事・副幹事の役割分担について

<定例会合企画担当制の提案と、担当月決め>

2025 年度定例会合は 5/23,8/29,11/28,26 年 1/30 を予定。

定例会合 4 回を各副幹事が企画。直前定例会合前のコアメンバー会議にて幹事・副幹事で案出しを行い、詳細を担当副幹事と事務局の間で調整。

5 月：岡崎さん

8 月：志野さん

11 月：木下さん

1 月：檜原さん（担当交代となった場合は次のセイコーエプソンご担当者）

5 月定例会合は IP FORWARD さんによる調査報告書のセミナー、および AmazonWG 会合報告などを想定。事務局より、参考のため定例会合の次第集を共有。

<幹事・副幹事に確認>

- ・新入会企業
- ・定例会合のプログラム/内容/スケジュール
- ・定例会合以外の意見交換会などのプログラム/内容/スケジュール
- ・PJ 向けアンケートの内容
- ・その他売り込みや、交流提案などへの対応

- ・定例会合後の議事メモ→担当回の副幹事のみ確認

<幹事のみ確認>

- ・上記を踏まえたメールの案内文面（幹事が事務局に一任でもよい）

(2) 次年度事業

<事務局より>

昨年度同様、事業概要をまとめたスライドを 2/21 の企画委員会までに作成する。特許庁、ジェトロで相談のうえそれぞれの事業に予算をつける。予算のかかる事業の実施の可否を早めに決定する必要がある。

<Amazon との交流>

- ・岡崎さんご担当。
- ・アンケート結果を見ると、参加者が多い 4 月 15 日開催予定。
- ・先方がセミナーをやりたいという意思を表しており、セミナー開催の前提で調整
- ・意見交換会は昨年度から 1 時間延長する想定。
- ・定例会合のディスカッションや事前アンケートで出た意見を Amazon に共有、Amazon がそれに基づき意見交換会のアジェンダ案を提案し、次回打ち合わせで詳細を議論。
- ・NDA 締結可能な企業を増やすため、案件に限定した NDA の締結可否について、泉から

Amazon に頭出しをし、次回の打ち合わせで議論。締結可能になる可能性がある企業は副幹事を除いて 5 社ほど。限定 NDA の締結も難しければ、「NDA 不要のジェネラル意見交換」＋「NDA 必要のクローズド意見交換」の 2 部を検討。

- ・次回の Amazon との打ち合わせを 2/7(金)16:00-17:00 に設定。

<地方出張企画>

- ・木下さんご担当。
- ・1, 2 月は税関が忙しく、10 月～11 月頭での実施を想定。
- ・名古屋税関を候補として検討。
- ・川崎外郵の場合、ジェットロ人事課から担当者につなげることができる可能性がある。

<インターネット関連テーマの専門調査>

- ・ア大 PJ で今年度は知らせている EC 調査と同等のもの（特に法制度の部分）を、他の地域でもできないか。2023 年度の世界的な EC 基礎調査は規模が大きすぎるので、カバーできていない地域の EC サイトに焦点を当てた調査ができないだろうか。
- ・本部でコアメンバーと協力して仕様書の作成や調査会社の選定などはコストがかかるので、やる場合はア大のように海外事務所に打診して委託する形となるか。
- ・必ず毎年やる必要があるわけではない。
- ・法律事務所などに委託するのでインターネット PJ の事業の中でも予算がかかり、予算確保のため調査の要否は早めに決定する必要がある。

<海外 EC 事業者との意見交換（オンライン・外部訪問含め）>

- ・eBay 上の模倣品が多く、グローバルな規模の割には削除以上の積極的な対策を講じないサイトという印象があり、意見交換（できれば米国本社の人も含めて）をしてみたい

- ・eBay など米国の EC プラットフォーマーとの意見交換を希望の場合、ジェトロニューヨーク事務所に感触を聞くため、早めに打診が必要。中国や東南アジアの事務所は定期的に EC プラットフォーマーとの繋がりがあるが、ニューヨークは主に論文の執筆や米国知財法体系の調査に取り組んでおり、EC プラットフォーマーとの繋がりを一から作る必要がある。

- ・招聘事業として行う場合はある程度予算の確保が必要。オンラインは通訳費用のみでそこまでのコストはない。米国などの場合は現地と 13 時間の時差がある。

- ・企業の出張コストもあり、現地事業は難しいので、オンラインでの意見交換 2 回分程度の予算を確保。

- ・今のところ、先日ジェトロに訪問したアリババインターナショナル、MOU 調整中の TikTokShop は、先方が意見交換に応じてくれる可能性が高く、特に TikTokShop はモチベーションが高い。

→TikTokShop はトコペディアの話も聞けるなら登壇について検討。

<国内 EC 事業者との意見交換>

- ・メルカリとヤフオクの対応があまり良くないので、引き続き意見交換の機会があると嬉しい。昨年度はメルカリと意見交換を行ったので、ヤフーオークション、ヤフーショッピングを希望。

- ・定例会合に呼ぶという選択肢もあるが、もしより長時間の意見交換を希望する場合会合と別での実施も検討できるが、その分のコストがかかる。

<定例会合の対面 or ハイブリッド>

数件オンラインも参加可能の意見はあるが、対面の方が活発なコミュニケーションが促進されるので、次年度も対面のみで定例会合を開催。